

昭島消防 防災NEWS

平成31年5月号
昭島消防署
防災安全係
発行

新年度が始まり、新しい生活をスタートされた方も多いことと思います。
昭島消防署にも新しく副署長・予防課長が着任いたしました！

副署長 今井 英樹

この度、墨田区の向島消防署から昭島消防署副署長に着任いたしました。向島消防署の前には青梅消防署におりましたので、青梅のように緑と清流の清々しい、そして下町向島のように、地域の皆さんが強い絆で結ばれた昭島での勤務を、大変嬉しく、そして心強く思っております。

「すべては市民のために」という署訓を胸に職務に邁進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

予防課長 甲斐 康仁

4月1日付で板橋消防署から昭島消防署予防課長に着任しました甲斐と申します。水と緑に恵まれた昭島に勤務できることを大変うれしく思っています。この豊かな自然と産業の調和した昭島の安心・安全の担い手として、新たな気持ちで火災予防行政を推進していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもの事故が増えています！！

乳幼児の事故で入院が必要とされる中等症以上の重大な事故要因は、“おぼれる”が最も多く、次いで“やけど”となっています。以下に示す2つの事故要因を例示してありますので、気を付けてください！

①自宅の浴槽での「おぼれる」

おぼれた場所の第1位は、自宅の浴槽です。

【事例】目を離した際に・・・

浴室内で親が体を洗っており、体を流すために目を離した際に子どもが40cmの浴槽内でおぼれた。（1歳 中等症）

※過去に保護者が目を離した際に首掛け式浮き輪をした状態でおぼれる事故も発生しています。



注意点！

☆ 乳幼児をお風呂に入れている時、決して目を離さないようにしましょう。

また、これからの季節、ビニールプールでの「おぼれる」事故にも注意しましょう。



②やけど

熱湯やお茶などの熱い液体や蒸気でのやけどが多くなっています！

【事例】電子ケトルで・・・

子どもが電子ケトルのコードを引っ張った際に、電子ケトルがテーブルから落ち、中に入っていた熱湯を被った。（7か月 中等症）

【事例】炊飯器の蒸気で・・・

子どもが炊飯器の蒸気口に手をかざして、やけどした。（1歳 中等症）

注意点！

☆ やけどの恐れのあるものは、子どもの手の届くところに置かないようにしましょう。



着ている服が燃える火事が

連続して発生しています！！

昭島市内では、今年に入り、調理中のこんろの火などが袖口に燃え移るなど、着ている服が燃える火事(以下、着衣着火と言います。)が、既に2件発生しています。特に体に不自由のある方や高齢者の方は素早い消火ができず重症化するケースが多いので注意してください。

着衣着火防止のポイント

- 調理中は、マフラー・ストールなどは外し、すそや袖が広がっている服を着ている時は、特に炎に接しないように注意しましょう。
- こんろの奥に、物を置かないようにしましょう。
- 鍋等の底から炎がはみ出さないよう、適切な火力に調整しましょう。
- カセットこんろ等は取り扱い説明書を、よく読んで正しく使いましょう。



昭島消防署定期普通救命講習

5月19日(日)午前9時から

—目の前で倒れた家族を救えるのはあなただけです—
救命講習を受けましょう

お申し込み、お問い合わせは昭島消防署救急係まで

なお、教材費(¥1,400)が必要となります。

